

観光社会資本の事例

テーマ	三国港突堤(エッセル堤)
【施設の状況写真】	
	
<p>九頭竜川の河口右岸から、緩やかにカーブしながら西方に突き出ているのが「三国港突堤」です。</p>	<p>突堤は自然素材を用いて造られています。波による洗堀を防ぐために、粗朶沈床(そだちんしょう)が敷かれ、上に15トンの石が積まれています。</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>夕暮れの風景にとけ込む三国港突堤。歴史的港湾施設と日本海を望む景勝地となっています。</p>	<p>冬の日本海に來襲する荒波。突堤は、港の安全を確保するために重要な役割を果たしています。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>三国港突堤は、明治初期にオランダ人技師のエッセルが建設の中心的な役割を果たしたことから、「エッセル堤」とも呼ばれています。</p> <p>自然素材を用いた施設で西洋の築港技術導入の第1号として知られ、土木技術史上価値が高いことから、平成15年12月に国の重要文化財に指定されました。</p> <p>地元では三国港突堤を核としたまちづくりを目指しており、突堤近くのサンセットビーチと呼ばれる海水浴場は、歴史的な港湾施設を見ながら、水遊びや自然観察のできる憩いの場として多くの人に親しまれています。</p>	



サンセットビーチ

テーマ	三国港突堤(エッセル堤)	
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 福井港(三国地区)防波堤</p> <p>所在地 福井県坂井市三国町</p> <p>事業名</p> <p>事業主体 福井県</p> <p>事業期間 明治11年～明治18年</p>		
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>港内の安全確保</p> <p>三国港突堤は、船舶の航行を妨げる漂砂や波浪を防ぐ「防波堤」の機能とともに、河口に栄えた三国港(現福井港)が、九頭竜川の運んできた土砂で埋まることを防ぐ「導流堤」の機能を果たしています。</p> <div data-bbox="826 622 1425 1032" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="986 1055 1281 1106" data-label="Caption"> <p>福井港 航空写真</p> </div>		
<p>【位置図】</p> <div data-bbox="148 1263 959 1809" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="959 1205 1441 1514" data-label="Text"> <p>交通アクセス</p> <p>[自動車の場合] 北陸自動車道・金津ICより 約25分</p> <p>[公共交通機関の場合] えちぜん鉄道 三国芦原線「みくに港駅」下車 徒歩5分</p> </div>		
<p>【関連ホームページ】</p> <p>三国観光協会 http://www.mikuni.org/</p>		